

提案書提出にあたっての条件と評価の概要

1. 提案書提出の条件

(1) 提案の位置付け

本件は、2005年日本国際博覧会において、ホスト国である日本政府として国内外からの来場者を歓迎するとともに、博覧会の魅力を高める企画事業・催事の提案を受けるものである。

(2) 提案にあたっての留意事項

1者あたりの提案数については、特に制限を設けない。
提案応募に際して要する費用は、提案者の負担とする。

2. 選定の方法

提案された内容は、別に設ける業務委託先選定審査委員会において選定を行う。
具体的には、企画事業・催事別に
書面審査による一次審査を行う。
一次審査を経て選ばれた者は、審査委員の前でプレゼンテーションを行う場合がある。
最終的に審査委員の協議により選定を行う。

3. 評価のポイント

提出された提案書は、以下の点を中心に評価する。

(1) テーマ・コンセプトの理解度、内容の明確性

博覧会事業及び政府出展事業のテーマ・コンセプトなどを十分に理解し、それらを踏まえた企画事業・催事内容が的確に示されていること。

(2) 政府出展事業としての的確性

実施する企画事業・催事の内容が、ホスト国である日本政府の事業として、ふさわしいものであること。

(3) 博覧会の魅力向上・来場者満足度向上への寄与

実施する企画事業・催事の内容が、博覧会の質を高め、魅力を増進させ、もって来場者の満足度を向上させるに資するものであること。

(4) 業務の実施能力

事業計画、業務推進体制及びこれまでの実績から、上記内容が予算的、人力的に実現可能と判断できること。